

BA.5対策強化宣言に伴う協力要請等について

令和4年8月4日

千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株（BA.5）の感染者が急増し、昨冬のピークを超え、即応病床使用率は70.3%（令和4年8月3日時点）となり、入院調整に時間がかかる事案が増えるなど医療機関等への負荷が急速に高まっています。

県では「BA.5対策強化宣言」を行い、基本的感染対策や感染リスクを低減させる適切な対策の徹底により、社会経済活動の維持と医療のひっ迫の回避の両立を図るために以下の対策を要請します。

○「BA.5対策強化宣言」の期間

令和4年8月4日から8月31日まで

○協力要請等の内容

1 県民の皆様へ

(1) 特措法第24条第9項に基づく協力要請

ア 冷房中でも室内を定期的に換気するとともに、こまめに手洗いを行うなど基本的な感染対策を再徹底すること。

イ 風邪症状等、体調不良が見られる場合は、外出を控えること。

ウ 高齢者や基礎疾患を有する方及びこれらの方と同居する家族等は、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出を控える等、感染リスクを減らす行動を心がけること。

エ 飲食時の大声や長時間の回避、会話する際はマスクを着用すること。

オ 「千葉県飲食店感染防止対策認証事業認証店」、「千葉県飲食店感染防止基本対策確認店」を利用すること。

カ 救急外来及び救急車は、適切に利用すること。

※ 救急車の要請に迷う場合は、自宅療養者フォローアップセンターや救急安心電話相談を利用してください。

※ 自宅療養中に容態が急変した場合には、躊躇なく救急車を呼んでください。

(2) (1) 以外のお願い

ア 症状が軽く、65歳未満で基礎疾患がないなど重症化リスクの低い方は、発熱外来の受診に代えて、検査キット配付センター等で配付する検査キットを用いて検査することや、陽性と思われる結果が出た場合には、陽性者登録センター又はオンライン診療の利用等を検討していただきたいこと。

イ 3回目までのワクチン接種を行っていない方や、20代、30代の若い世代の方は、感染による重症化や後遺症から自分を守るためにも、速やかな接種を検討していただきたいこと。

ウ 高齢者などの重症化リスクの高い方については、ご自身やご家族などの周りの方がワクチンを接種していただきたいこと。

2 事業者の皆様へ

特措法第24条第9項に基づく協力要請

- ア 業種別ガイドラインを遵守すること。
- イ 在宅勤務（テレワーク）の活用を推進するとともに、時差出勤、自転車通勤等の人との接触を低減する取組を推進すること。
- ウ 職場においては、感染防止のための取組や「3つの密」等を避ける行動を徹底すること。
- エ 療養を終了した方や濃厚接触者の待機期間が終了した方が職場等で勤務を開始するに当たり、職場等に証明（医療機関・保健所等による退院若しくは宿泊・自宅療養の証明又はPCR検査等若しくは抗原定性検査キットによる陰性証明等）の提出を求めないこと。
- オ 集客施設においては、入場者の整理・誘導、発熱者等の入場禁止、入場者のマスクの着用等の周知を徹底すること。
- カ 社会経済活動の維持と感染防止対策の両立のため、業務継続計画の確認等を進め、事業継続を図ること。
- キ イベントの実施に当たっては、「感染防止安全計画」や「感染防止対策チェックリスト」により、その規模にかかわらず感染防止対策を講じて実施すること。会合やイベントなどでは、症状のある方が参加しないように呼びかけること。

3 高齢者施設等へ

(1) 特措法第24条第9項に基づく協力要請

- ア 高齢者施設等の従事者等の頻回検査を実施すること。
- イ 高齢者施設等での基本的感染対策に配慮した面会を実施すること。
- ウ 入所者等へのワクチン接種を促進すること。

(2) (1) 以外のお願い

協力医療機関等との協力体制を確認すること。

4 医療機関へ

(1) 特措法第24条第9項に基づく協力要請

全医療機関における新型コロナウイルス感染症対応への協力

(2) (1) 以外のお願い

- ア 現在病床を確保していない医療機関も含めた更なる病床の確保
- イ 回復期・慢性期を担当する医療機関を中心とした後方支援医療機関としての協力
- ウ 緊急搬送後に感染が判明した患者等に対する医療の継続
- エ 高齢者施設等における協力医療機関の事前確保への協力

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株（BA.5）の感染者の急増により医療機関等への負荷が急速に高まっています。

この状況を踏まえ、県は、社会経済活動を維持しながら感染拡大に対応するため、「BA.5対策強化宣言」を行います。

宣言に伴い、県民や事業者の皆さまに対する特措法第24条第9項に基づく協力要請等は、以下のとおりとします。

県民の皆さまの基本的感染対策と事業者の皆さまの感染リスクを低減させる適切な対策の徹底を行いながら、社会経済活動の維持と医療のひっ迫の回避の両立を図るため、一層の御理解と御協力をお願いします。

なお、内容については、今後も国の動向、県内及び近隣都県の感染状況等を踏まえ、随時見直しを行っていきます。

1 基本的対処方針の概要

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、医療提供体制の強化、ワクチン接種の促進、治療薬の確保等の取組を進める。こうした取組により、重症化する患者数が抑制され、病床ひっ迫がこれまでより生じにくくなり、感染拡大が生じても、国民の命と健康を損なう事態を回避することが可能となる。今後は、こうした状況の変化を踏まえ、感染リスクを引き下げながら経済社会活動の継続を可能とする新たな日常の実現を図る。
- (2) その上で、医療がひっ迫するような感染拡大が生じた場合には、強い行動制限を機動的に国民に求めるとともに、政府の責任において、新型コロナウイルス感染症以外の通常医療の制限の下、緊急的病床等を確保するための具体的措置を講じる。

2 県における基本的な考え方

- (1) 国の基本的対処方針に沿った措置等を行う。
- (2) 感染リスクを引き下げながら経済社会活動の継続を可能とする新たな日常の実現を目指す。
- (3) 感染の拡大が認められる場合に、速やかに効果的な感染対策等を講じるとともに、医療がひっ迫するような感染拡大が生じた場合には、強い行動制限を機動的に県民・事業者に求める。
- (4) 期間は、令和4年8月4日から8月31日までの間とする。

3 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について

下線部が今回の宣言に伴う協力要請等の内容となっています。

(1) 県民の皆様へ

○ 基本的な感染対策を徹底 ～効果的な換気を～

- ・ 「3つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「効果的な換気」「マスクの着用」(不織布マスクを推奨。以下同じ。)、「手洗いやアルコール消毒などの手指衛生」、をはじめとした基本的な感染対策を徹底してください。《特措法第24条第9項》

※ 「3つの密」とは①密閉空間②密集場所③密接場面という3つの条件をいう

※ 「効果的な換気のポイント」

URL: <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/kankipoint.pdf>

※ 「屋外におけるマスクの着脱の実践例」

URL: <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/okugaimasuku.html>

※ 「新しい生活様式の実践例」

URL: https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/02_new_life_style.pdf

- ・ 風邪症状等、体調不良が見られる場合は、受診以外は、出勤、登校を含め、外出を控えましょう。《特措法第24条第9項》

なお、発熱等の症状があるときは、感染リスクを下げるため、あらかじめ医療機関に連絡してください。

- ・ 業種別ガイドライン等を遵守している施設等を利用してください。

○ 感染リスクが高い場所への外出等を控える

- ・ 高齢者や基礎疾患を有する方及びこれらの方と同居する家族等は、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出を控えること、室内では効果的に換気を行うことなど、感染リスクを減らす行動を心がけてください。

《特措法第24条第9項》

- ・ 帰省や旅行など、都道府県間の移動[※]は、「3つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底するとともに、移動先での感染リスクの高い行動は控えてください。

※ 医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要なものについては、移動の自粛要請の対象外とします。

○ 飲食時の注意 ～会話をする際はマスクを着用～

- ・ 大声や長時間の飲食を回避し、会話をする際はマスクを着用するようお願いします。《特措法第24条第9項》
- ・ 1テーブル4人を基本として、広さに応じて、一定の距離等を確保できる人数でお願いします。
- ・ 箸やコップは使いまわさないでください。
- ・ 手指消毒を徹底してください。
- ・ 飲食店を利用する際は、感染防止対策について県が認証・確認している「千葉県飲食店感染防止対策認証事業認証店」、「千葉県飲食店感染防止基本対策確認店」を利用してください。《特措法第24条第9項》
 - ※ お店のリストは千葉県ホームページに掲載しています。
- ・ 飲食店を利用する際は、お店から求められる感染防止策に協力してください。
- ・ 換気が良く、座席間の距離が確保されている又は適切な大きさの亚克力板等が設置されている店を選んでください。
- ・ 自宅等で同居家族以外の方が集まって飲酒をするいわゆる「宅飲み」や飲酒を伴わないホームパーティ等においても、飲食時の注意を守ってください。

○ 受診について

- ・ 救急外来及び救急車は、適切に利用してください。《特措法第24条第9項》
 - ※ 救急車の要請に迷う場合は、自宅療養者フォローアップセンターや救急安心電話相談を利用してください。
 - ※ 自宅療養中に容態が急変した場合には、躊躇なく救急車を呼んでください。
- ・ 症状が軽く、65歳未満で基礎疾患がないなど重症化リスクの低い方は、発熱外来の受診に代えて、検査キット配付センター等で配付する検査キットを用いて検査することや、陽性と思われる結果が出た場合には、陽性者登録センター又はオンライン診療の利用等を検討してください。

○ ワクチン接種について ～早期接種の推奨～

- ・ ワクチン接種については、3回目までの接種を行っていない方や、20代、30代の若い世代の方は、感染による重症化や後遺症から自分を守るためにも速やかな接種を検討してください。
- ・ 高齢者などの重症化リスクの高い方については、ご自身やご家族などの周りの方がワクチンを接種してください。

(2) 事業者の皆様へ

- 業種別ガイドラインを遵守してください。※1《特措法第24条第9項》

なお、飲食店については、感染防止対策の実施状況を確認するため、引き続き、見回りを行います。

- 出勤者数の削減の目標を定め、在宅勤務（テレワーク）の活用を推進するとともに、職場に出勤する場合でも、時差出勤、自転車通勤等の人との接触を低減する取組を推進してください。《特措法第24条第9項》

- 職場においては、感染防止のための取組※2（マスクの着用、手洗いや手指消毒、咳エチケット、職員同士の距離確保、事業場の換気励行（別表中1参照）、ドアノブ・スイッチ等の複数人が触る箇所の消毒、発熱等の症状がみられる従業員の出勤自粛、軽症状者に対する抗原簡易キット等を活用した検査、出張による従業員の移動を減らすためのテレビ会議等の活用、昼休みの時差取得、社員寮等の集団生活の場での対策等）や「3つの密」等を避ける行動を徹底するよう促してください。特に、職場での「居場所の切り替わり」（休憩室、化粧室、更衣室、喫煙室等）に注意するよう、周知してください。《特措法第24条第9項》

- 療養を終了した方や濃厚接触者の待機期間が終了した方が職場等で勤務を開始するに当たり、職場等に証明（医療機関・保健所等による退院若しくは宿泊・自宅療養の証明又はPCR検査等若しくは抗原定性検査キットによる陰性証明等）の提出を求めないようにしてください。《特措法第24条第9項》

- 集客施設においては、入場者の整理・誘導、発熱者等の入場禁止、入場者のマスクの着用等の周知を徹底してください。《特措法第24条第9項》

- 職場において従業員が、感染者や濃厚接触者となった場合に備えて、社会経済活動の維持と感染防止対策の両立のため、業務継続計画の確認等を進め、事業の継続を図ってください。《特措法第24条第9項》

- 職場や店舗等において、「感染拡大防止対策チェックリスト※3」により、感染拡大防止のための取組を適切に行うとともに、業種別の感染拡大予防ガイドラインが策定されている場合には、それを確実に実践し、感染拡大防止対策を徹底してください。また、業種別の感染拡大予防ガイドラインが策定されていない場合は、類似する業種のガイドラインを参考に対策を徹底してください。

- 取り組んでいる感染拡大防止対策について、店舗等への掲示やホームページへの掲載により、県民にわかりやすく公表してください。

- 高齢者や基礎疾患を有する者など重症化リスクのある労働者及び妊娠している労働者や同居家族にそうした者がいる労働者については、本人の申出等を踏まえ、テレワークや時差出勤等の感染予防のための就業上の配慮を行ってください。

※1 業種別のガイドライン

(内閣官房ホームページ)

<https://corona.go.jp/prevention/pdf/guideline.pdf>

※2 職場における感染防止対策の徹底に関するその他の要請については、千葉県ホームページの「職場における感染防止対策の徹底に関するその他の要請」及び「事業所におけるオミクロン株の特徴を踏まえた感染防止策について」を御確認ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/20210929workplace.pdf>

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/20220210workplace.pdf>

※3 「チーバくん」がデザインされた「感染拡大防止対策チェックリスト」
(千葉県ホームページ)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/ncovchecklist.html>

(3) イベント主催者及び開催する施設の管理者の皆様へ【第24条第9項】

- イベントの実施に当たっては、「感染防止安全計画」や「感染防止対策チェックリスト」により、その規模にかかわらず感染防止対策を講じて実施してください。
- 会合やイベントなどでは、症状のある方が参加しないように呼びかけてください。

【収容率・人数上限の目安等】

- ① 感染防止安全計画^{*1}を策定し、県による確認を受けた場合
人数上限：収容定員まで
- ② ①以外の場合
収容率：100%（大声^{*2}なし）又は50%（大声あり）
かつ
人数上限：5,000人又は収容定員の50%以内のいずれか大きい方

※1 感染防止安全計画は、参加人数が5,000人超かつ収容率50%超のイベントを対象に、イベント開催時に必要な感染防止策を着実に実施するために策定して提出していただくものです。また、感染防止安全計画が策定されているイベントは、「大声なし」の担保が前提です。

※2 「大声」とは「観客等が、(ア)通常よりも大きな声量で、(イ)反復・継続的に声を発すること」をいい、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが「大声あり」に該当します。

【留意事項】

- 催物開催に当たっては、その規模にかかわらず、業種別ガイドラインの徹底や、「3つの密」が発生しない席の配置、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、催物の開催中や前後における選手、出演者や参加者等に係る主催者による行動管理等、基本的な感染防止策を講じてください。
- 参加者に対し、イベント等の前後の活動における基本的な感染対策の徹底等と呼びかけてください。
- 参加者名簿を作成し連絡先等を把握するとともに、接触確認アプリ(COCO A)の利用を推奨してください。
- 感染防止安全計画の提出は、イベント開催の2週間前までに行うように努めてください。また、感染防止安全計画を提出した場合は、イベント終了後、1か月以内を目途に、結果報告書を県に提出してください。

- 県による感染防止安全計画の確認を受けていないイベントについては、「感染防止策チェックリスト」をホームページやSNS等で公表し、イベント終了日から1年間保管してください。（従前の「大規模なイベントの開催に関する事前相談」を行い、既に、県から確認済みの連絡を受けているイベントを除きます。）
- 感染防止策の不徹底など問題が発生した場合は、感染防止安全計画の策定の有無にかかわらず、直ちに、県及び関係府省庁に結果報告書を提出してください。

※ 開催制限の目安、感染防止安全計画の提出方法等の詳細については、千葉県ホームページに掲載している「イベントの開催制限等について」を十分に御確認ください。

URL:<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/event-limitation0915.html>

※ 上記の条件のほかは、令和4年3月17日付け内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長事務連絡「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」及び令和4年2月10日付け内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長事務連絡「イベント開催等における感染防止安全計画等について（改定その4）」のとおりとします。

※ 提出いただいた結果報告書は、他の都道府県や関係府省庁へ情報提供する場合があります。

参考1 これまでの緊急事態宣言発令時等に要請した感染防止対策（別表参照）も参考にしてください。

参考2 「新型コロナウイルス感染症防止対策宣言～取組の5つのポイント～（千葉県ホームページ）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/documents/torikumi5point.pdf>

【問合せ先】

下記以外

取材対応：健康福祉部健康福祉政策課	TEL 043-223-2630
一般問合せ：特措法協力要請電話相談窓口	TEL 043-223-4318

検査キット配付・陽性者登録センターに関すること

取材対応：健康福祉部健康福祉政策課	TEL 043-223-2604
一般問合せ：コールセンター（検査キット）	TEL 0120-996-016
コールセンター（陽性者登録）	TEL 0120-829-125

飲食店における感染防止対策（認証店若しくは確認店又は見回り）に関すること

商工労働部経営支援課	TEL 043-223-3496
------------	------------------

別表 これまでの緊急事態宣言発令時等に要請した感染防止対策

1. 徹底した換気を行ってください。
 - ※ 例えば、二酸化炭素濃度測定器を用いて店内を測定し、二酸化炭素濃度が一定水準（1000ppm）を超えないように換気や収容人数を調整してください。なお、二酸化炭素濃度が一定水準を超えた場合に自動的に換気が行われる技術を導入する方法もありえます。
 - ※ 機械換気設備がある場合は適切に稼働させ、ない場合は、30分に1回以上、数分程度、二方向の窓を全開するなどにより換気量を確保してください。窓が一つしかない場合は、ドア等を空けてください。
2. 飲食をする場においては、全ての座席について「同一グループ内の人と人との間隔」及び「他のグループとのテーブル間の距離」を一定以上（目安1～2m）確保してください。なお、距離の確保が困難な場合には、飛沫の飛散防止に有効な遮蔽板（アクリル板等）を設置するなどの工夫をしてください。
 - ※ 遮蔽板（アクリル板等）の設置：同一テーブル上の正面及び隣席との間、並びに他のテーブルとの間に設置。遮蔽板（アクリル板等）の高さは、目を覆う程度の高さ以上のものを目安としてください。
3. 店舗入口や手洗い場所、席の近く等に、手指消毒用の消毒液を用意してください。また、従業員は来店者の入店時に、消毒液を使用するよう呼びかけをお願いします。
4. 店舗入口及び店内に、「食事中以外のマスクの着用をお願いします」旨を掲示又は呼びかけを行ってください。
5. マスク着用のお願について、正当な理由がなく応じない方の入場を禁止してください。すでに入場した方には退場を促してください。
6. 店舗入口及び店内に、「発熱や咳などの異常が認められる場合は入場をお断りさせていただく」旨を掲示するとともに、正当な理由がなく応じない方の入場を禁止してください。すでに入場した方には退場を促してください。
7. 人と人が対面する場において、アクリル板など、会話により飛散する飛沫を遮ることができる板等を設置するか、相互の適切な距離を確保してください。
8. 従業員へ、保健所から行政検査を受けるよう指導等があった場合には、受検することを促していただくようお願いします。
9. 入場者が密集しないよう、入場者の整理及び誘導をお願いします。
10. 事業所の消毒をお願いします。

経 第 4 4 8 号
疾病第 1 0 7 4 号
令和 4 年 8 月 4 日

各関係団体の長 様

千葉県商工労働部長
(公 印 省 略)
千葉県健康福祉部長
(公 印 省 略)

新型コロナワクチンの3回目接種に関する積極的な周知について（依頼）

日頃より、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

現在、県内では若い世代を中心に感染者が急増している一方で、新型コロナワクチンの接種については、3回目接種の若年層の接種率が、20代、30代では5割台、10代では3割台にとどまっています。

また、国では、7、8月を「ワクチン推進強化月間」とし、改めて若い世代に向けた、政府の広報活動等を強化しています。

貴団体におかれましても、適宜、リーフレットや動画資料をご活用いただき、会員の皆様への周知や各所での掲示・配布等により、積極的な広報を行っていただくとともに、従業員への接種の呼びかけや、接種日当日等の休暇取得への理解などにより、接種を受けやすい環境を整備するよう、会員の皆様に働きかけていただければ幸いです。

引き続き、新型コロナワクチンの接種推進のため、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

<添付資料>

- ・「今、コロナワクチンについてお伝えしたいこと」
- ・リーフレット「3回目接種がまだお済みでない皆さまへ」（2022年7月）
リンク <https://www.mhlw.go.jp/content/000966240.pdf>

連絡・相談先

千葉県健康福祉部疾病対策課ワクチン接種体制整備班

043-223-4364、4365、4366、4367

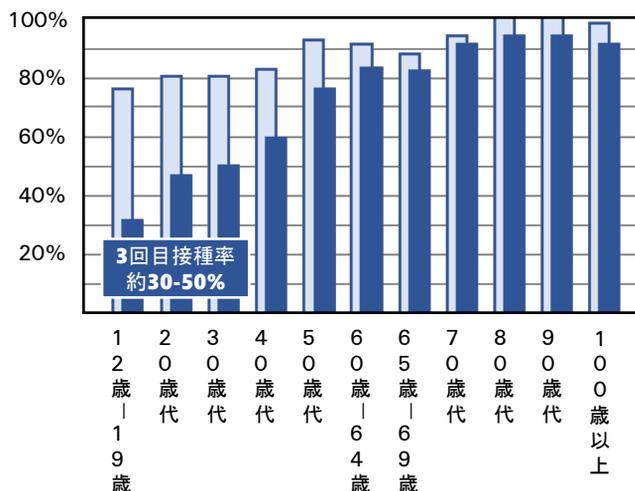
現在、若い世代を中心に感染者が急増している一方、若い世代の3回目ワクチン接種は3～5割台にとどまっています。

現在、若年層を中心に全国的に新規感染者の増加がみられます。
(新規感染者の半数以上が10-30代)



ほぼ全世代において8割以上の方に2回目の接種を完了いただいておりますが、特に、10～30代の若年層における3回目接種率が低いことが課題です。

■ 2回目接種済率
■ 3回目接種済率



若い方であっても、重症化したり、倦怠感などの症状が長引いたりする可能性があります。

3回目のワクチン接種は、皆様ご自身を守るだけでなく、家族、友人、高齢者など、大切な方を守ることにもつながります。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

企業・団体等の皆様へのお願い

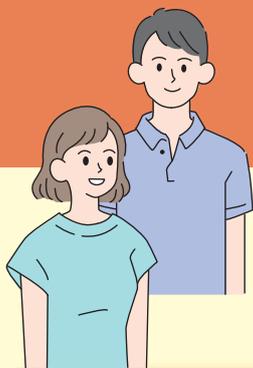
若い世代のワクチン接種促進に向けて、7、8月を「ワクチン推進強化月間」とし、政府の広報活動を強化中です。**各企業・団体等の皆様からも従業員等に対して積極的に働きかけていただけますと幸いです。**参考までに、働きかけに必要なリーフレットや参考動画のURLをご連絡させていただきますので、ご協力何卒よろしくお願い致します。

なお、働きかけるに当たっては、ワクチン接種はご本人の意思に基づき接種いただくものであるため、接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをしたりすることのないようお願い致します。

【政府広報動画等】

- ・ 西川きよし氏、蛭原徹氏、J01の皆様との総理対談
- ・ 青山学院大学 原晋監督のテレビCM <https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg24215.html>
- ・ ポンポンTVでの大阪大学忽那教授との対談 <https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg24617.html>
- ・ 総理からのメッセージ動画 <https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg24760.html>
- ・ 3回目接種のお知らせのリーフレット <https://www.mhlw.go.jp/content/000966240.pdf> など

新型コロナワクチン 3回目接種がまだお済みでない皆様へ



3回目接種をご検討ください



第89回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード

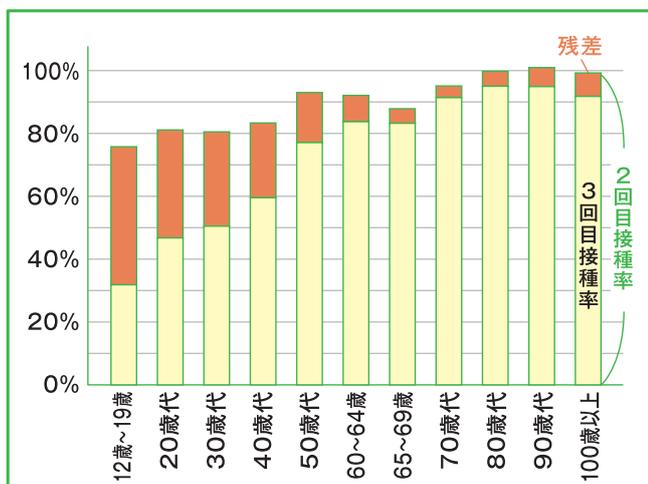
(令和4年6月30日)において、「**新規感染者数が全国的に上昇しており、特に大都市で増加している**」と指摘されています

- 初回免疫(1・2回目接種)によるオミクロン株感染に対する感染予防効果や発症予防効果は著しく低下します。
- 7月以降、3連休や夏休みなどを迎え、接触の増加等が予想されます。

第89回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード(令和4年6月30日)より

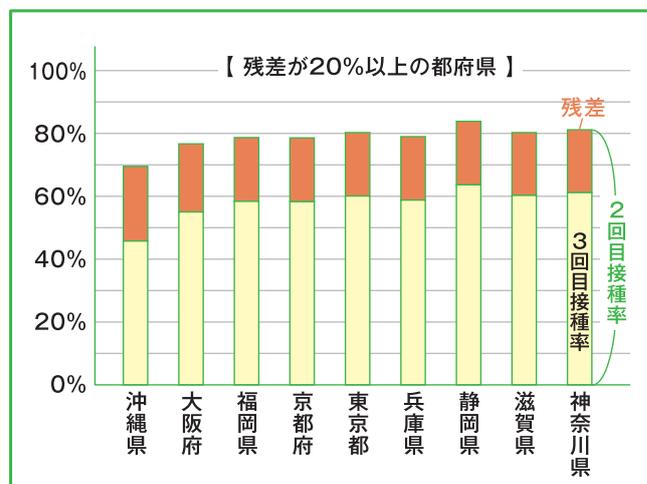
【年代別】2・3回目ワクチン接種率

(2回目接種後に3回目接種をまだしていない人の割合を残差として示しています。)



【地域別】2・3回目ワクチン接種率

(2回目接種後に3回目接種をまだしていない人の割合を残差として示しています。)



首相官邸ホームページ掲載資料(令和4年7月11日公表時点)から作成

3回目接種によりオミクロン株感染に対する感染予防効果、発症予防効果や入院予防効果が回復します。

出典：UKHSA COVID-19 vaccine surveillance report Week 11.17 Mar 2022
Tseng (Nature Medicine 2022) MMWR Morb Mortal Wkly Rep.2022;71(4).

- 3回目接種の対象になるのは、2回目のワクチン接種を終了した12歳以上の方です。
- 3回目接種で使用できるワクチンは、①ファイザー社(12歳以上) ②モデルナ社(18歳以上) ③武田社ワクチン(18歳以上)の3種類です。

◎3回目接種の詳しい情報については、こちらをご覧ください。➡



◎各自治体の接種場所については、お住まいの市町村のホームページや
広報、接種総合案内「コロナワクチンナビ」をご覧ください。

◎住民票がある場所(住所地)以外での接種について

- ・入院・入所中の医療機関や施設でワクチンを受ける方 ➡ 医療機関や施設でご相談ください。
- ・基礎疾患で治療中の医療機関でワクチンを受ける方 ➡ 医療機関でご相談ください。
- ・お住まいが住所地と異なる方 ➡ 実際にお住まいの地域でワクチンを受けられる場合があります。
実際にお住まいの市町村ホームページでご確認いただくか、相談窓口にお問い合わせください。



◎ワクチンを受けるにはご本人または保護者の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人または保護者の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方または保護者の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

ワクチンを受けた後も、マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします

新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する効果が確認されていますが、その効果は100%ではありません。また、ウイルスの変異による影響もあります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。具体的には、「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。

感染予防対策を
継続していただ
くようお願いし
ます。



密集場所

「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避



密接場面



密閉空間



マスクの着用



石けんによる
手洗い



手指消毒用アルコール
による消毒の励行

新型コロナワクチンの詳しい情報については、
厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 検索

